

各 位

## サコス株式会社

異業種対談

## 建設機械と芸術のコラボレーションを開始!!

サコス株式会社は、芸術系の学識者（環境芸術学会:コージアム※1部会）との対談で、平成20年4月より、社会コミュニケーション・ツールとしてのアート（芸術）を積極的に活用し、相互に協力することで合意した。

\* 出席者:環境芸術学会:池村明生先生（プロフィール参照）、高須賀昌志先生（プロフィール参照）  
サコス株式会社:代表取締役社長 中田 信二、常務取締役 瀬尾 伸一

## 【内容】

サコス株式会社は、昨年9月に工事現場にボランティア協力(コージアム活動)したことがきっかけで両先生と知り合い、今回1月28日に当社役員と建機レンタル事業の中で、及び企業の社会貢献として芸術がどのようにに関わり合い、協力できるかをテーマに対談した。

対談では、建設産業特有の様々な課題・問題点等、更に芸術のあり方や学術的な観点からの社会的な役割の話まで広範囲にわたり、将来の夢等も話し合われ、幾つかの合意点を得た。

## 【合意の要旨】

～ハード(社会インフラ)とソフト(芸術)の創造のお手伝い～

- ・サコス社員に対する**デザインマネジメント研修**。  
⇒企業マネジメントにも繋がる「マネジメントデザイン」講義を社内幹部教育として開始。
- ・**コージアム活動**を通じた芸術文化活動の支援。  
⇒コージアム活動の継続的協力体制の確認。
- ・コージアムをテーマとした**サコス営業手法**の開発  
⇒営業ツールとしての”ミニ・コージアム活動”の実施。
- ・産学連携体制の強化。(LLPやTLO<sup>2</sup>の参加も)  
⇒両大学のTLOを利用した協力体制の検討。



社長 中田 信二



常務 瀬尾 伸一

## シナジー効果を期待

- \* サコス株式会社は、コージアム活動等への協力を通じて、**工事現場での芸術活動**推進。
- \* 芸術関係者も建設現場が作品発表の場として利用でき、**環境芸術活動の広報**にもなります。



サコスは、より一層の飛躍を進める過程で、業績だけでなく『懐の深いゆとりのある企業に』更に『広くお客様から“ありがとう”と言ってもらえる企業』へと進めて参ります。

以上

1：コージアム＝「工事現場×ミュージアム」の略語であり、土木・建設等の工事現場におけるアートを通じた、市民とのコミュニケーション及び景観形成に寄与する取り組みを象徴する言葉であり、都市環境において見かけられるストレスフルな工事現場を対象に、その課題に対する環境芸術のあり方を、実践のかたちで研究するものです。

2：TLO＝大学の研究成果を特許化し、それを民間企業等へ技術移転する法人。

## 添付書類

### 池村明生先生プロフィール Akio Ikemura

研究テーマ：パブリックアート、まちづくりデザイン、コミュニケーションデザイン

参加部会：コースアム研究部会

ホームページ：<http://www.epl.co.jp/>  
<http://www.common-odawara.com/>

#### 【略歴】

1960年 神奈川県生まれ  
1982年 東京芸術大学美術学部デザイン科卒業  
1985年 東京芸術大学大学院美術研究科修了  
1985年 株式会社環境計画研究所入社  
現在 東海大学教養学部芸術学科教授  
株式会社環境計画研究所取締役  
環境芸術学会（理事／コースアム研究部会代表）

#### 【主な業務実績】

1997年 すみだトリフォニーホール建設アート整備業務  
1998年 日本都市センター会館建設アート整備業務  
1999年 「さいたま新都心シビックコア地区環境造形整備業務」  
1999年 霞ヶ関セントラルやまがたアートチェア整備業務  
2000年 霞ヶ関地区環境造形整備検討業務  
2000年 霞ヶ関地区サイン整備計画業務  
2001年 国会前庭整備検討調査及び委員会運営業務  
2002年 首都高速中央環状線換気塔デザイン設計者選定検討業務  
2005年 環境省新宿御苑100周年プロモーション計画業務  
2006年 環境省新宿御苑100周年記念事業事務局運営業務  
2007年 JAPANブランド総合展示会計画運営業務  
2007年 すみだトリフォニーホール10周年コミュニケーション計画業務



#### 【著書】

・「空間づくりにアートを活かす」（2006／学芸出版社）

#### 【その他の活動】

・東海大学「小田原木工産業の木屑からみる業界把握調査（クスビット）」発表。  
・小田原市にて地元市民団体活動をサポート。  
・山形市にて地元協同組合の活動及び職業訓練校をサポート。

### 高須賀 昌志先生プロフィール Masashi Takasuka

研究テーマ：環境における造形

参加部会：コースアム研究部会

#### 【略歴】

1965年 神奈川県生まれ  
1991年 安宅英一賞受賞（東京芸術大学）  
1992年 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了  
1994年 東京芸術大学助手  
現在 埼玉大学准教授  
環境芸術学会理事

#### 【作品設置（抜粋）】

1995年 「よりそうかたち」 瀟画廊・駒沢  
「つりあうかたち」 アルテセラーリオ八尾・長崎  
1996年 「3つのかたち」 寒河江市総合福祉保健センター・山形  
1997年 「繫」 上信越道坂城I.C・長野  
1998年 「よりそう2つのかたち」 三好町保田ヶ池公園・愛知  
2001年 「A toy building block」 ライオンズガーデン北習志野  
2003年 「よりそうかたち」 他 青葉台グランディエスタ  
2005年 「記憶とあそび」 ハーバーシティ蘇我・市川  
2006年 「地ノソミ知ヲマトウ」 国立大学法人埼玉大学  
「思想の庭」「風景の庭」 N生命保険会社・丸の内  
2007年 「やまのかみさま」「うみのかみさま」「かぜのかみさま」  
東京ミッドタウン檜町公園・六本木  
「Flower for sale!」 クレストフォルム勝どき  
2008年 「家族の肖像」 富士見市モニュメント・ふじみ野駅

#### 【個展（抜粋）】

1997年 ・人の中のかたち・（METAL ART MUSEUM HIKARINOTANI）  
1999年 ・よりそうかたちに託すもの・（埼玉県立近代美術館）  
2002年 ・よりそうかたち・（ちばぎんアートギャラリー）  
2004年 ・カタチとあそび・（あかね画廊）  
2005年 ・ドローイング（瀟画廊）



#### 【展覧会（抜粋）】

1993 甲府まちなかの彫刻展優秀作品展（甲府）／1994 東京芸術大学美術学部教官作品展（東京芸術大学資料館）／1995 Lighting Installation（箱根彫刻の森美術館）Steel Art 展（新日鐵・八重洲）／1998 アートビル三好ヶ丘'98 彫刻フェスタ特選受賞（愛知）  
／2001「共振する風景」（埼玉大学教官作品展／埼玉県立近代美術館）朝来 2001 野外彫刻展 in 多々良木（朝来芸術の森美術館）  
／2002 ONE FOURTYEEN GALLERY（つくば美術館）／2003 NICA 2003（東京国際フォーラム）／2006 ひょうじょう展（リビングデザインセンター OZONE・新宿）  
あそびのひょうじょう（リビングデザインギャラリー・新宿）／2007 ドローイングをめぐって（つくば美術館・筑波）

## 【対談メモ】

(進行役) サコス株式会社 営業推進部 柳瀬良輔

柳瀬

本日は昨年コージウム活動でお世話になった両先生をお招きし、当社トップの両役員と「建設機械と芸術のコラボレーション」と題し対談をお願いしました。是非、自由にお話し合いして頂きたいと思えます。

池村

昨年のコージウムプロジェクト(スミダンププロジェクト)ではたいへんお世話になりました。学校が参加してくれ、また企業を通してプロジェクトが進んだこともあり、地域社会とのコミュニケーションがユニークなかたちで生まれました。これはまさしく「環境芸術学会」が目指すものであり、成功した事例と思えます。

このようなプロジェクトは大切なことであると考えていますので、これからもたくさんの方々にご協力願いたいと考えています。

高須賀

私の担当が教育学部であったことも幸いしました。このように、そのときの様々な環境条件の中で、それぞれの形態で生み出すのがパブリックアートの一つの重要なはたらきでもあります。

例えば、六本木ミッドタウンの公園で「ジャパンバリュー」というコンセプトで作品を依頼されたことがあり、その土地の歴史やこれから住まいを持つ人々のイメージ等様々な条件下で子供たちの遊具等の作品を造ったことがあります。沢山の相反する要素をどのように統合していけるか、あるいはどのように社会に対してメッセージを発信することができるか等を創造していくことは、パブリックアートの醍醐味であるといえると思えます。

私は小学校の教科書の執筆も行っています。教育学部の学生には学校教育での芸術教育について教えており、今回、参加した学生もこの学校現場での「スミダンププロジェクト」でその臨場感や小学校と地域との連携等、芸術の社会性についておもしろさを感じてもらえたと思えます。私自身このプロジェクトを大学美術教育学会での論文にまとめさせて頂きました。

教育においてもそうですが、その役割や効果のようなものが見えづらく、芸術はその特性において「社会還元手立て」の場が少ないのです。そうした中で、工事現場という人々があまり気づかない特殊な環境に改めて芸術・アートの必要性を感じ、再確認する思いがしました。

中田

私どもの会社の企業理念で「社会貢献」という言葉があります。日頃から、利益追求だけを追うことなく、一般社会へも美しい社会貢献できる企業へと考えておりました。その意味でコージウムへの参加を考えたのです。建設現場のイメージアップだけでなく、社員採用時等のサコス企業イメージアップのためにも、コージウム活動をと考えています。

サコスもIR(企業情報公開)をこのような機会を活用させて頂きたいと思っています。

瀬尾

採用時の面接でも、最近の学生さんから社会貢献という言葉がよく出ます。私は、この言葉の裏には最近の若い方々は「心の満足」に力点を置いてるのかな?と判断しています。私どもはこのコージウム活動で、人材育成に役立てたいと考えております。なかなか大々的なご支援はできませんが少しずつお役に立ちたいと思っております。

池村

今、お二人から、社会貢献としてのお考えを伺わせて頂きましたが、私たちは社会貢献活動を行う学会活動とは別に、プラスディーという名でLLP活動もしております。これは企業や個人の立場を超え、有機的な繋がりから事業を組み立てていこうと考えている組織で、魅力的でユニークなビジネスを目指しています。

今回のスミダンププロジェクトは学会の仕事としては最適であったのですが、これを更におもしろく展開するためには、学術面だけでなくビジネス面としても成長させる必要があると考えています。

高須賀

同じように私の大学では病院に教育実習の場としてご利用させて頂く代わりに、経済的フォローとしてその病院に私の研究室で壁画を作成したことがあります。直接ビジネスとしての話ではありませんが潜在的にそうしたニーズを掘り起こすことができれば可能性は広がっていくと思います。

池村

人も幅広い経験や知識がなければ人間形成できません。その意味で「デザイン」そのものが、幅広い経験や知識を誘発してくれるのではないのでしょうか。(デザインマネジメント)

柳瀬

是非一度、サコスの幹部に幅広い意味での「デザイン」をご教授願えないでしょうか？

池村

そうですね。営業的な言葉を考えるのもある意味デザインですね。

瀬尾

当社の事務所建設で専門のデザイナーにお願いしました。そこで驚いたのはそこで働く社員が“誇り”を持つようになったことです。

高須賀

そうですね。楽しく仕事ができ、時間を楽しむことは重要なインセンティブに繋がります。環境を整えていくことは「見た目」を良くするという以上に「精神」を高め「気持ち」を豊かにしていくといった目に見えない役割が大きいことの現れであると思います。

中田

足立営業所を改装したときも同じデザイナーにお願いしたのですが、完成後は社員やお客様からもまるでショールームのようだと好評でした。

瀬尾

最近、TLO（技術移転機関：大学の技術・アイデア・発明を評価・特許化し適切な企業へ積極的にマーケティングを行い技術移転に結びつける機関）という言葉をよく耳にします。是非、このようなことも考えて頂ければと思います。

池村

産学協同の一種ですね。企業が抱える課題をテーマに学生たちにアイデアを募集したり、コンペをしたりするのも一つの方法ですね。

先ほどお話ししたLLPにはいろいろなデザインジャンルにかかわる人が参加して様々な取り組みをやっておりますので、サコスの方々にもご参加頂ければ、更におもしろい展開に繋がっていくと思います。如何ですか？

中田

良いお話ですね、検討してみましよう。

柳瀬

できれば具体的に目に見える形で営業ネタのラインアップや表現して頂ければありがたいですね。良い提案が出たところで、「夢のある話」を一言ずつお願いできますか。

池村

そうですね。LLPも現在は小さな活動組織ですが、将来はデザインやアートを活かした独創的な組織にしていきたいと考えています。

高須賀

芸術は「人と人とを結ぶ道具」でしょうか。芸術を「モノ」として理解すると宝物とし崇めていく対象となってしまいますが、精神や心にはたらくものとして把握すれば、誰もが身近なものとして日常の中に置くことができると思います。その精神や心が人と人を結びつける上で大事なものとなることは自明のことです。

中田

サコスをもっと「懐の深いゆとりのある企業に」育てたいと考えています。常に商売、常に利益と言う考え方よりも、今回のコージウムに参加したように地域社会とのコミュニケーションをとれるような企業にしたいと思っています。

瀬尾

大勢の方から「ありがとうと言ってもらえる会社・仕事」が夢ですね。

池村

アートには「人と人のコミュニケーションを生み出す力」があります。

中田

最後に、コージアムで中和小学校を見学したとき、私が小さな小学校の子供たちに囲まれ、お役に立てるようになったことに対して自分自身、感動しました。本当に芸術は立場の違う人々を繋ぐ良いものですね。

本当にありがとうございました。これからも宜しく願っています。 また、是非このような機会を時々お願いしたいと思います。

2008年1月28日 本社会議室にて  
(記録) 総務部 岡村